

資産・物品管理システム 「モニスター」

# MONiSTOR for メディカル

ME機器やベッドなどの資産管理にかかる時間の短縮を図るとともに管理の正確性を向上  
大幅な作業負担の軽減と無駄な資産購入をなくすという大きなメリットが得られます

**悩**  
病室移動時の管理が不十分で  
再購入が相次いでいる

**困**  
棚卸作業に長い時間を費やすため  
院内業務を圧迫している

## RFIDとバーコードを利用した資産管理で **悩** や **困** を解決

### POINT 1. 頻繁に移動する資産を追跡

多くの看護スタッフ間での利用や病室移動によって保管場所が不明瞭になり、紛失・再購入となってしまう資産を減らすため、貸借管理を行います。

移動時の処理は対象資産のICタグやバーコードを読み取ることで、利用者や所在が登録され、常に精度の高い管理状態を保つことが可能です。

医療環境の整備にも役立ち、最適な状態で業務を進めることができます。

### POINT 2. 棚卸は「いつでも・簡単に」

頻繁に移動する資産の管理を正確に行うには、棚卸の頻度を増やす必要があります。しかし、長時間かかる棚卸業務の仕組みでは、スタッフにとって新たな負担が増えるなどの課題が発生し、直接的な問題の解決になりません。

モニスターによる資産管理では、いつでも簡単に棚卸をできる体制を整えるために、RFIDを活用します。RFIDは複数の資産IDを一度に読み取ることが可能で、作業の効率を飛躍的に向上させます。これにより省力化・簡略化を図ることができるため、本来の院内業務を圧迫することなく棚卸を行うことが可能です。

▼ 資産の利用場所などの最新状況がひと目で確認できる



複数のICタグを一括で読み取るため、棚卸に効果的▲

### 無駄な再購入を 大幅カット

広い施設内でも資産の状態を正確に把握できるため、紛失を未然に防ぐことができ、無駄な資産の購入を一掃します。

また、利用履歴から買い替えや修理の判断ができ、計画的な予算の策定が可能です。

### 棚卸作業が スピードUP

棚卸が簡略化されることで、作業にかかる時間が大幅に短縮されるため、導入前と比べ本来の業務に十分な時間を費やすことができます。

さらに、棚卸時間の短縮は、作業者の負担と人件費の低減にもつながります。

導入事例① 総合病院

導入テーマ **資産管理のシステム化とRFIDの導入により管理作業の改善を**



導入施設	総合病院	
施設病床数	約900床	
導入規模	MONISTOR	4ライセンス
	使用機器	DOTH-300U・5台、ラベルプリンタ・2台
	ICタグ	10,000枚(金属対応9,000枚、ラベル1,000枚)
管理対象	病室内備品(ベッド、テレビ、絵画、家具等)、ME機器	

課題1

院内で保有しているME機器や備品を把握できていない

- ・使用時に見つからず再購入が相次ぎ、同じ機器を過剰に保有している。
- ・備品を保管する場所に悩むこととなった。

課題2

資産に関する情報を病院全体で共有する体制が整っていない

- ・院内で多数の管理部門があるため、情報共有が難しい。
- ・管理担当は日々の業務で手いっぱいとなり、きちんとした管理ができない。

**改善 POINT**

- 1. 全資産を把握**  
保有するME機器、ベッドやキャビネットなどの医療用家具や備品を全てデータ化。
- 2. 病院全体で情報共有**  
データ化した内容は、どのフロア、どの病棟からも確認が行える状態にする。
- 3. 管理業務の簡略化**  
誰でも・手軽に・スピーディーに管理業務を行える仕組みにする。

**導入効果** 全スタッフが病院内の資産を把握でき、RFIDの導入により管理作業の負担が軽減した

資産データは院内で共有化され、必要なME機器の利用状態や他フロアの未使用機器の確認が各々で簡単にできるようになった。また、病室の移動や一時的な措置によりキャビネットなどの置き場所が変わっても、本来あるべき場所へきちんと戻すことができるため、機器や備品の紛失・再購入の頻度も目に見えて減ってきている。資産はICタグで管理され、これらを読み取るRFIDリーダーの操作はシンプルであるため、業務に支障なく誰でも簡単・スピーディーに棚卸ができる体制を整えることができた。

**今後の展望** 管理システムと利用ルールを予算の有効利用へつなげる

計画的でムダのない資産購入ができるよう、利用履歴を主とした資産情報を役立てる。また、紛失による再購入をなくすよう、利用ルールを徹底していく。



導入事例② 介護福祉施設

導入テーマ **棚卸を誰でも簡単にできるように低予算で効率的な管理体制へ**



導入施設	介護福祉施設	
施設定員数	入所：100名 通所：100名	
導入規模	MONISTOR	1ライセンス
	使用機器	MC55A0-HC+DOTR-9200J・2セット、ラベルプリンタ・1台
	ICタグ	1,500枚(金属対応500枚、ラベル1,000枚)
管理対象	ベッド、歩行者、点滴台、機器を含む施設内の全資産	

課題1

台帳で資産管理をしていたが棚卸は長い期間に渡って実施していない

- ・資産に管理ラベルは貼っているものの、ほぼ無管理の状態が長く続いている。
- ・棚卸は手作業でチェックする体制だったため、その煩わしさと負担の大きさから長期間に渡って実施していなかった。

課題2

管理にかかる費用を抑えたい

- ・棚卸や管理にかかる時間を減らし、人件費を抑えたい。

**改善 POINT**

- 1. 棚卸を効率化**  
作業負担だけではなく、精神的負担と人件費も低減させる。
- 2. 資産情報を明確に**  
施設内のどこに何があるかをはっきりとさせる。
- 3. 既存の管理データを活用**  
以前管理していたデータを利用し、初期登録の作業を少しでも軽減する。
- 4. RFIDの導入**  
バーコードと併用し、柔軟な管理を目指す。

**導入効果** RFIDとBCの併用により導入費用が抑えられ、管理作業は簡略化と負担低減を実現できた

頻繁に棚卸を行う資産や圧倒的に数が多いものにはICタグを使用し、ICタグを貼ることができない素材や形状、水がかかる資産にはバーコードで対応するなど、個々の状態や現場の運用方法に合わせてICタグまたはバーコードを選択。このハイブリット管理により、導入・運用コストを抑え、管理作業の負担が軽減された。また、棚卸作業が簡略化し、誰でも作業ができるようになったため、頻度も増やすことが可能に。所有資産の把握と、それらの設置・利用場所等の情報が常に明確になった。

**今後の展望** 資産管理の精度をより向上させていく

効率的な資産管理体制が整ったため、今後はより精度の高い管理体制を築けるよう、スタッフの意識向上に努めていく。



開発・販売元

**株式会社 東北システムズ・サポート**  
〒980-0021  
宮城県仙台市青葉区中央1-6-35 東京建物仙台ビル17F  
<http://www.tss21.co.jp/monistor/>

代理店

**Ainix** アイニックス株式会社  
AINIX Corporation

本社 〒153-0044 東京都目黒区大橋1-6-2 KDX池尻大橋ビル  
TEL(03)5728-7500 FAX(03)5728-7510  
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-22-20川丸ビル  
TEL(06)6838-3071 FAX(06)6838-3117  
名古屋営業所 〒461-0011 名古屋市東区白壁1-4-5白壁ビル  
TEL(052)950-7510 FAX(052)950-7570

<http://www.ainix.co.jp/>